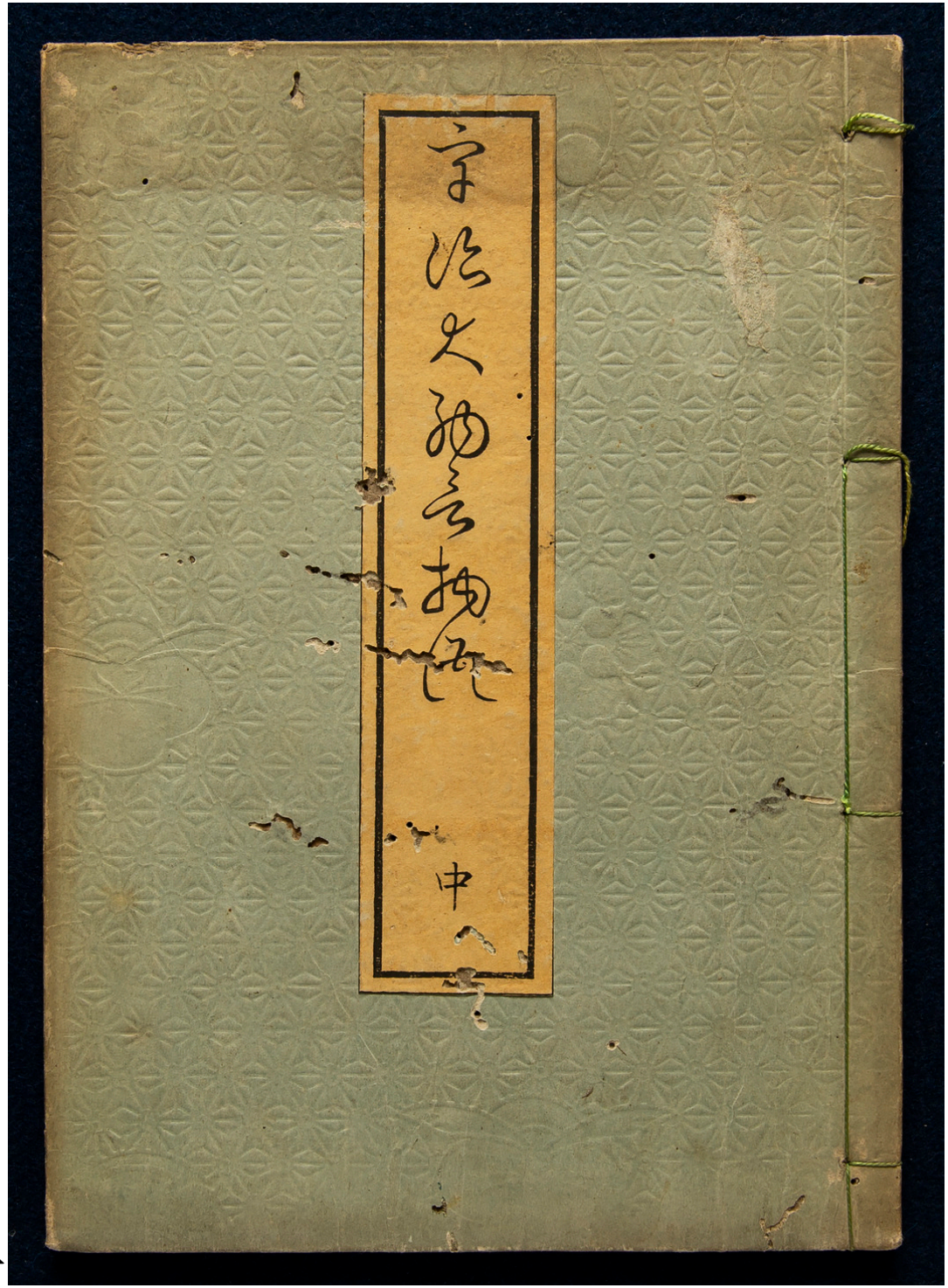
宇治大納言物語　中　（天明六年版）

椙山女学園大学デジタルライブラリー

椙山女学園大学図書館


字治大納言物語
中

63B1175

かくだりさやけてれかゑ月みれいてゐのまでゐ
おぐいよのおがめよやとあこれ
いまんじてたのぎれ大納ゑ人のをいてそ
うきまりおそりまを同家の女房逢
のきろひされえきこわめかおてこ人人
れをこえとおきゆみきこわてるこかさ
うこそおまこ夜と人めくやおこまるかか
ゑえでそていうこみそうめ人ゐはは
文の女房逢きうををるまかかこくひ
わてなきり文大納ままこれこそひま
人い夢こき人めく。まこえかのすれきの

おもうこきこうけはべそわりこ。そのけさ
みて。時の大いよの新中納ゑゆきのこく
りのこ女房逢うこやけべ。おれえた
ろおひまんこて。夢みこあてこいみえ
きつひでおみくこおが先く。まこれ
まくおて。めの。さのこまでべそいおじ
このおひまんこて。浅まこうをおりうを
おがされきれ
いまんじこは一条院されをのう時よ東門
院。事かみなやまをおひまれべ院堂大会
夜。さこをおひて。院第ゐりい陣子ゐけ

てそうてつさそもものみて。こいのでよべさ。ゐ誦經などかさ称てよべさこと仰られまつ。ゐ何いまざれそうぐるみ。勤行中相ろ有ゐ。いまざりつかりまろ時よていく。法会ハ阮ゐまりはたるべかろ称て誦經ゐおよべべうべこと狂ゐ。女房そうてまいりて。法会がでみなりぬしまり。事そそく後有ゐ。いうりてゐ。法会なりねこい。ゐもろそとくこいもの。ゐ障こいろゐさまと事てゐゐひくあさてゐなれば。法会なりねこそんでてゐ。

いうたむしてお坂のあるさゐ。南寺こいろ私ゐ。ゐ仏ゐろのみて。方の人まいりみそてきりて。大ゐれ尊ハさて。ゐ勤行ゐすべなまりみ。それをいめ大ゐごと。でハ半一つてそぶさゐんしもの。つかろ称ていさろことゐべ。さゐんあをおしばゆくゐいの半ゐ。ざねゐと。みざりまり。入道ゐ称ろべめまりて。ゐの半ゐおあり。ゐ人のまりめいかりまり。法門ゐそでおりまろでまろ。ハう。ゐやまりまりねろしまれば。ゐもゐべきそていよくまり

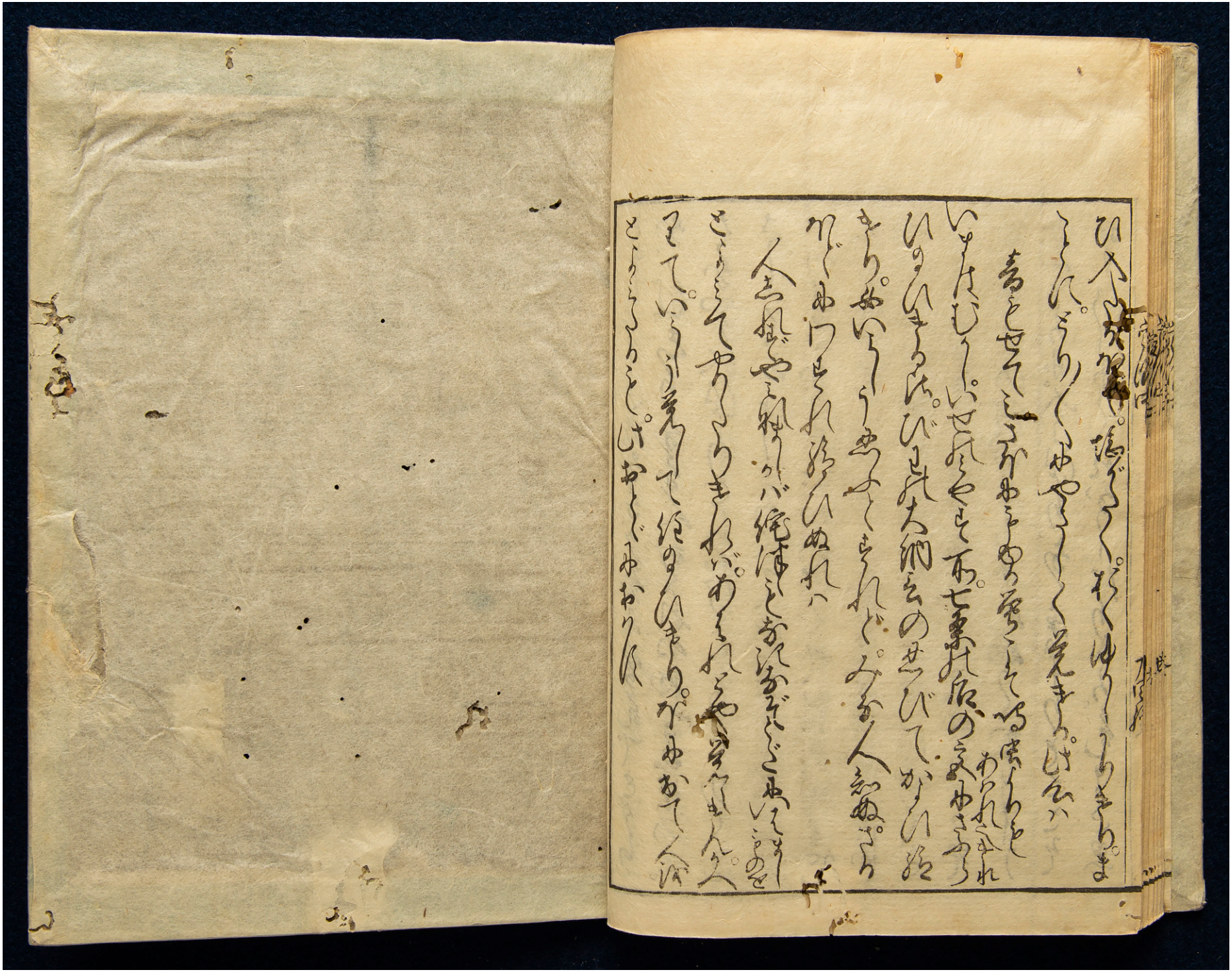
うんひゃくよにんいざこざかせんといそぎもり
西のあつりへたちくおこるのひごろよりも
みてもなし。せう佛ごろやれくんのうらさら
うくけらるんせよとでみさりきれがいで
人まりまり。奇ぶしくまりまりあるこの
なまり色でかけかがくくく

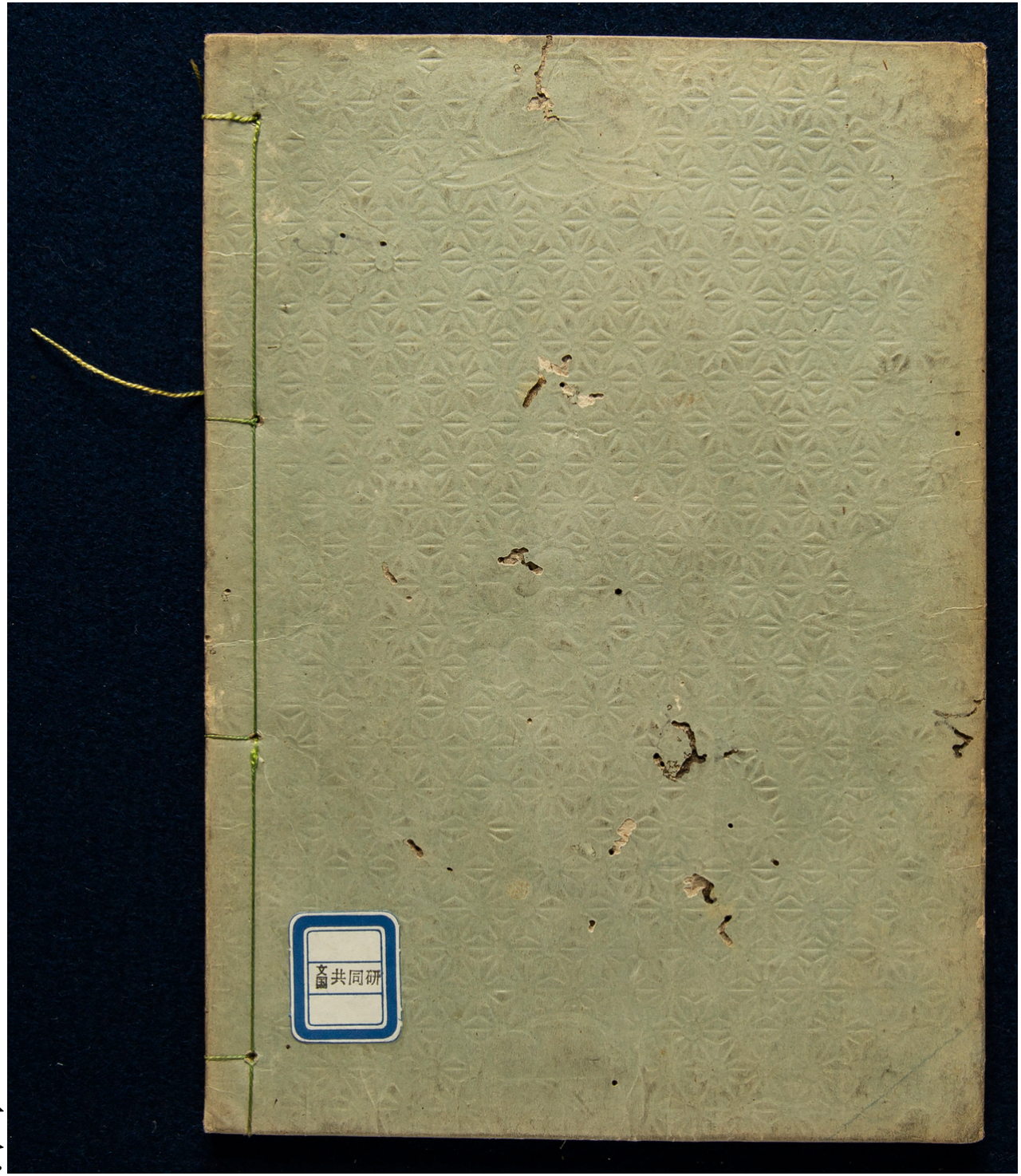
きうみ。実ゐ人まつ一也こうきれバ。法ゐうう
はゐぎて身づ続ぐきうみ。真法うさう
の三位そていうき人ありきうまいりてバ年
ごとにみくかでう年ゐうさゐ一ことゐうう、
ゐゐみんてゐゐゐと作られまれバ月ゐ夜
ゐゐバつゐくゐうせうびゐゐゐゐんと
てよき月ゐうて月がうのまにうかに
う家来一てびゐゐかう一也法ひてお
つて。三代の法門の開自ゐせう也法えん
とゐうせうきう。実ゐ三代のゐう一ろう勝
さ也法ゐて。四代とゐ後三家院の法時う

だうゐこと一也法ひゐきり。ゐ代ゐうゐかう
いまはむう一。一条院の法時。宮にてそ一
ろくゐうきり歌。ろ一辺く出さ也法ひて。
宮ゐ法ぐきうゐ。香炮峯のありさゐいう
うんと作うきれバ法ゐ納ゐゐゐゐありし
がゐ一とおくて法ゐ庵ゐをしてうきう。
女の来まぐ。ゆのおうたゐ一ゐひつ一ゐら
まこきう。枝ノ香炮峯の雪。楽天ゐ後ゐ
こゐ一つの詩ゐ尚ゐて行きう時の詩ゐ云
遺愛寺鐘欹枕聴　香炮峯雪撥簾看（イ　アノカネハマクラヲソバダテ　カウロホウノユキハカケテミスダレヲ）
とあるバ。法門作出されきうみうりて。ゐ庵

これぞなのまことありてかしこくこれうかくしてこぶ
みおこおうべきみなりのめきり。たのむしうされ
むこそとか。真付か門かみとし書こうん
おかうみてんやてかりもこれきれいぶことうう
ひろんとかきれいぶかこうんなの絵そぶ法三
書てこあとかきれいぶ絵このこのこ弥
こ。まくのこのこまくこうこてまかくもこ
きれいぶ門かく。ふまもおひて。てくみをお
こてなこみきりそでぶの何事かてもん
原波玉へおごされて。まうりまうみ
りごれ来小鳥ひてござおへ人中はぎこ流ま編舟

いまむしこ。法事納会という文かくの百日
まり月のおくまもう秋。らいせいの門の掛れと
みうくふぎなびきれいぶすまくの門のうへ
りおけこすがこなれへこのくきちく
こけいおおうそみさずんこてめぐおか
ひりまおむこ人へかふをれんわう
りまか
いまんむこまよのふ人とかへおうまり。
万の事なんこるくめでくくれいまる中
みをぶさうの冬びるんるこびおくこのひ
まおいうんびをこてあうこ方。




文国共同研